分類番号
141.2

テーマ別調べ方ガイド

Paste ぱすて +ぷらす

心理物理学について調べる

★ 関連キーワード
- 精神物理学
- 知覚
- 測定

「Paste(ぱすて)」とは？

ぱっと分かって、**す**っと頭に入る、**テ**ーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ラーニング・サポーター(LS)による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

発行：2025 年 7 月 8 日　大阪大学総合図書館
作成：総合図書館 LS（基礎工学研究科）

1. イントロダクション

1－1. 「心理物理学(精神物理学)」とは？

心理物理学(psychophysics)は、「私たちが感じる世界」と「実際の物理的な世界」の関係を調べる学問です。
例えば、

- 音を少しずつ大きくしていくと、どのくらいの差で「音が大きくなった」と感じるのか？
- ライトの明るさを少しずつ強くすると、いつ「明るくなった」と気づくのか？
- 重さの違うものを持って、「どのくらい違えば重さの違い」を感じるのか？

などがあります。
このように、物理学的な刺激(音、光、重さなど)と、それに対する人間の感じ方(感覚・知覚)の関係を研究する学問です。

1－2. 学習するにあたってのポイント

心理物理学では、「五感(視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚)」に関わる人の感じ方の仕組みを研究します。非常に幅広い分野ですが、まずは「感覚をどのように評価するか」という基本的な方法から学ぶのがおすすめです。そのうえで、自分の興味のある分野(例：視覚、聴覚など)について文献を読んでいくと、より深く理解を深めることができます。心理物理学には統計学や医学に関連する内容も含まれるため、一度ですべてを理解するのは非常に難しい分野です。はじめからすべてを理解しようとするのではなく、「必要な部分」や「全体の大まかな構造」をつかむことを意識して学習を進めるとよいでしょう。

2. 学習用資料

2－1. 事典・ハンドブック 類

■ 心理物理学 ： 方法・理論・応用 ／ G. A. ゲシャイダー著 ； 倉片憲治，金子利佳，芝崎朱美訳

本書は上巻・下巻の二冊構成となっています。上巻では心理物理学の基礎が解説されており、下巻には応用的な内容が収録されています。上巻を教科書のように活用することで、心理物理学の基本的な理解を深めることができるでしょう。

【書誌 ID= 2003478594】総合図−A 棟 3 階 学習用図書 141.28||GES||1(上)、141.28||GES||2(下)

2－2. 最初に読むべき資料： 教科書・古典

■ 感覚・知覚実験法 ／ 岡嶋克典編集

この本は、前半で測定法や解析方法について解説し、後半では五感それぞれの説明や実験例を紹介しています。心理物理学を幅広く学びたい方におすすめの一冊です。興味のある分野だけを読んでも、非常に勉強になります。

【書誌 ID= 2004098218】総合図−A 棟 3 階 学習用図書 141.2||KOZ||5

■ 知覚心理学:progress & application ／ 村上郁也著

この本は、知覚の原理を中心に書かれた一冊です。視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚といった五感それぞれの知覚の仕組みについて学びたい方におすすめです。

【書誌 ID= 2004487428】総合図-A 棟 3 階 学習用図書 141.2||MUR

■ 感覚知覚の心理学 ／ 吉澤達也編 ; 氏家弘裕［ほか］著

この本は、感覚や知覚に関する内容を中心に構成されています。冒頭で、心理物理学の基本的な内容が紹介されています。フルカラーの口絵を通して、錯視などを実際に体験しながら読み進められるのが特徴です。「見る」「聞く」といった知覚の基礎的な仕組みに加え、工学的な応用分野である感性工学についても解説されています。

【書誌 ID= 2004578775】総合図-A 棟 3 階 学習用図書 141.2||YOS

■ 知覚を測る : 実験データで語る視覚心理学 ／ 大山正著

視覚による知覚についてまとめられた書籍です。過去に行われた実験の方法や結果を通して、視覚知覚の仕組みを学ぶことができます。どのような実験が行われ、どのような知見が得られてきたのかを、具体的なデータとともに理解できる内容になっています。

【書誌 ID= 2004166722】総合図-A 棟 3 階 学習用図書 141.21||OYA

2－3. 有用なナビゲートツール: ブックガイド・リンク集

■ 心理物理学入門 (https://it-is-fine.hatenablog.com/entry/intro-psychophysics)

こちらは、心理物理学を噛み砕いて解説した記事です。専門書を読む前に本記事を読むことで、内容がより理解しやすくなるでしょう。心理物理学を学び始める際の最初のステップとして、ぜひご一読をおすすめします。

2－4. 関連学会

■ The International Society for Psychophysics

国際心理物理学会(ISP)は、1984 年にフランスのカシで設立された、心理物理学に関する国際的な学術団体です。感覚や知覚に関する研究、特に心理物理学的手法の発展と応用を目的として、世界中の研究者の交流と情報共有を促進しています。 毎年開催される年次大会「フェヒナー・デイ(Fechner Day)」では、最新の研究成果が発表され、分野の第一線で活躍する研究者たちによる講演も行われます。

■ 日本心理学会

日本心理学会は、1927 年設立の日本最大級の心理学学会で、感覚・知覚を含む幅広い分野の研究を扱います。年次大会や学術誌を通じて最新の研究成果を発信し、心理物理学の研究者も多く参加しています。

3. レポート・論文執筆用資料

3－1. 有用な検索キーワード

◆ 主要キーワード：精神物理学／感覚知覚／弁別閾／測定尺度
◆ 関連キーワード：視覚／聴覚／触覚／嗅覚／味覚
◆ 補助キーワード：心理実験／フェヒナー

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

テーマ別調べ方ガイド Paste ぱすて +ぷらす